

第 3 回全体会（H30.1.22）における主な意見

【全体会】

NO	主な意見	対 応
1	百歳体操を広めるためには、広報紙、ホームページ等での積極的な広報や区のイベント事業でのデモンストレーション等を実施し、広く周知していくことが必要ではないか。	百歳体操について、広報紙、ホームページ、チラシ等の広報媒体を活用し実施会場等を広く周知するとともに、イベント時に体験コーナーの開設や、PR 用動画の作成・配信等により、参加者のすそ野を広げていきたい。
2	百歳体操だけを実施するより、地域のふれあい喫茶や手芸教室等を合わせて開催する方が参加しやすいのではないか。	未実施の地域で新たに百歳体操を始めもらうために、既存の事業等と合わせて実施する手法があることも提案していきます。
3	生涯学習ルーム事業以外に、生涯学習の取組みを自主的に活発に取り組んでいるものについても、小学校を利用できるようにして欲しい。 また、こうした生涯学習の取組みの活動発表の場が欲しい。	各小学校の多目的室等で実施されている生涯学習ルーム事業は、区役所が各地域活動協議会に委託し運営しています。 生涯学習ルーム事業は、学習活動に取り組むきっかけ作りの場であり、できるだけ多くの新しい人が参加し学びの輪を広げていくことを目的に行っているため、同じ受講者で同じ講座を3年を超えて継続する場合は自主的に運営していただくこととしています。 自主的な生涯学習活動の小学校利用については、取組みが様々な形で行われていることや、場所・スペースの制約といった課題があるので、今後の検討課題とさせていただきます。 ただし、自主的に運営されている生涯学習活動の発表の場については、区役所2階の区民ギャラリーのさらなる利用の促進を図ります。また、区民センター等を利用した展示や舞台発表等の場所の提供についても幅広く検討していきます。

NO	主な意見	対 応
4	<p>生涯学習推進員連絡会が主催するおもてなし茶会のポスターが1枚だけ地域の掲示板に貼られており、回覧は実施されていない。経費との兼ね合いもあるだろうが、枚数等をふやすなど、さらに周知する必要があるのではないか。</p>	<p>いただいたご意見については、生涯学習推進員連絡会に伝えます。</p> <p>また、大阪市長が委嘱した生涯学習推進員による活動でもあることから、区役所としても幅広い世代に参加いただくためにも、引き続きホームページやフェイスブックを活用するなど積極的な広報に努めます。</p>
5	<p>「子育て」「親育ち」だけでなく、おじいさん、おばあさんなどあらゆる世代を含めて、昔遊びや知恵の伝承など、みんなで育ちあう取り組みも大切だと思う。</p>	<p>30年度に予定している家庭教育支援講座では、子どもの育ちを切れ目なく支え、核となる家庭を支援できるよう、学校・家庭・地域等と連携を図り進めていく予定であり、みんなで育ちあうことの大切さや、つながりづくりについても、その中で啓発できるよう工夫していきたい。ご意見をふまえ、取り組み内容について検討していきます。</p>
6	<p>教育力や子育て力は家庭教育が基盤であるが、子どもに対してどう接していいのか悩む保護者も多く、ストレス耐性も弱くなってきており、学校現場も大変さを抱えているのが現状である。</p> <p>生涯学習の観点や概念からの家庭教育の取り組みは、重要で必要な取り組みであると考えます。</p>	<p>子どもが育つこと、また親自身が子育てを通じて成長すること、そんな「子育て」「親育ち」を支え、核となる家庭を支援できるようなまなびの機会を、乳幼児期～学齢期～青年期と切れ目なく提供できるよう、また、区役所としての「家庭教育」の取り組みとなるよう、実施内容を精査しながら他課連携や調整を進めていきます。</p> <p>また、必要とされる人に届く「家庭教育」の取り組みとなるよう、学校・家庭・地域等との連携を図りながら、実施方法や内容について検討し進めます。</p>

NO	主な意見	対 応
7	地域の防災訓練について、町会など身近な単位で実施するのも大事ではないか。	各地域において小学校を利用した防災訓練が行われていますが、地域防災リーダーの協力も仰ぎながら、訓練メニューの提示をするなど町会などでも防災の取組みを広めてもらえるよう支援していきます。
8	災害時地域貢献事業所制度と協力事業所について、広く周知し見える化をしてはどうか。また、地域の防災訓練への参加など、地域の防災訓練への参加など、地域との連携を図るべきではないか。	<p>災害時地域協力貢献事業所については、現在ホームページで事業所名等の公表や、ステッカーの配付を実施しているが、今後作成する防災マップへ事業所名称等を記載するなど、協力いただいている事業所がよりわかりやすくなるよう工夫するとともに、個別具体の協力内容についても、公表の同意を得た事業所については公表していきます。</p> <p>また、制度を幅広く周知することにより、協力事業所数の増加を図ります。</p> <p>さらに、地域防災訓練への参加・協力についても働きかけを行い共助の取組みを進めていきます。</p>
9	百歳体操などを広報紙 1～2 面に特集記事として掲載すれば効果的に周知できるのではないか。	広報紙は、限られた紙面の中で掲載すべき情報を選択し紙面づくりを行っているが、特集記事については、掲載場所を含めて検討します。
10	鶴見区将来ビジョンでは、市内で年少人口の割合が一番高いという特長をとらえ、施策の方向性を示すべきではないか。	子どもの割合が多いということを鶴見区の強味ととらえ、子ども達が将来さまざまな分野で参画できる社会をめざした鶴見区将来ビジョンとなるよう素案を修正します。